

広報

活力あふれ  
ひとが輝く  
安らぎのまち

# 伊万里

平成23年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル  
(平成22年10月10日：国見台陸上競技場)

# 平成 23 年度 当初予算総額

# 209 億 9700 万円

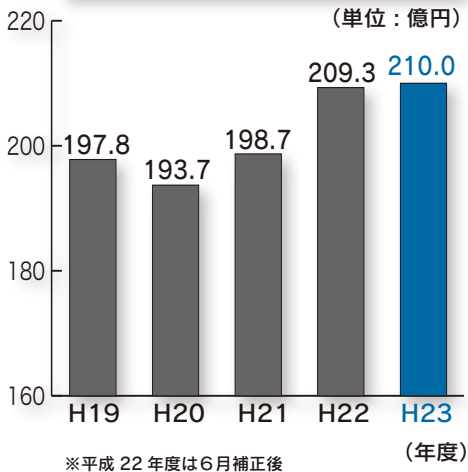
## 一般会計

長引く地域経済の停滞に伴い、市税などの増加が期待できない中で、扶助費をはじめとする義務的経費の増大が見込まれるなど厳しい財政状況が予想されます。

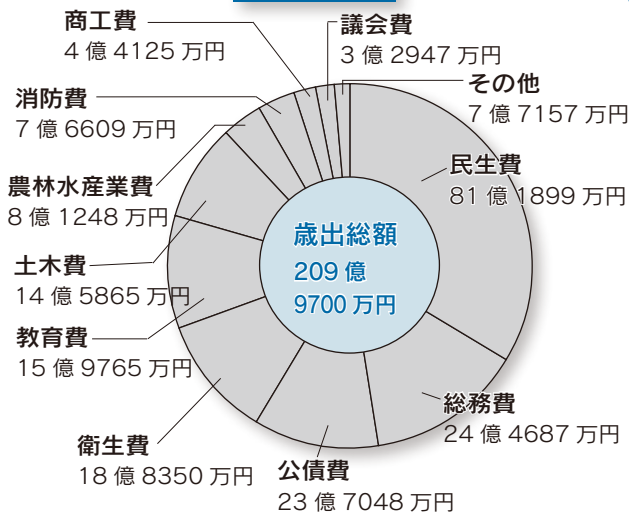
このため今年度は、行財政改革の一層の推進により経費縮減と歳入確保を図る一方、歳出では、都市計画道路大坪木須線の整備に取り組みとともに、新統合病院建設や休日・夜間急患医療センターの新築移転、二里小学校の校舎改築に向けた基本設計の経費に重点的な投資を行うなど、限られた財源を効果的に配分し、緊急性・必要性を考慮した予算の編成に努めました。

その結果、平成23年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で209億9700万円となりました。これは、平成22年度と比較すると0.3%の増加となります。

一般会計予算額の年度別推移

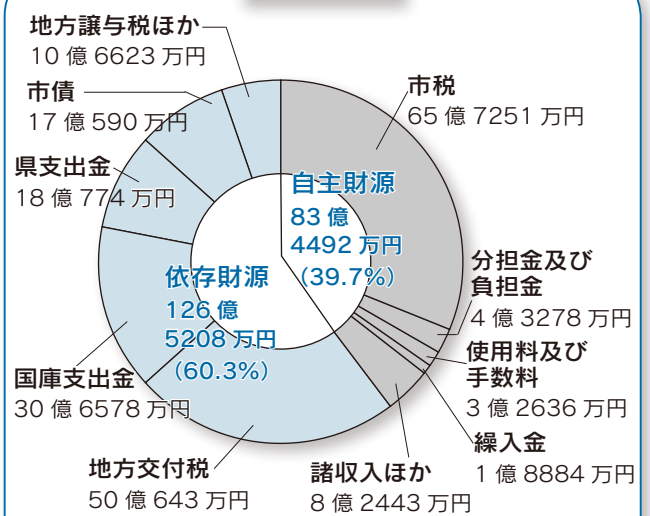


### 歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 農林水産業費…農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

### 歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 分担金・負担金…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料…施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです



**表1** 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	66億8,430万円
介護保険	51億9,554万円
立花台地開発事業	1,881万円
公共下水道事業	20億5,803万円
農業集落排水事業	1億1,719万円
市営駐車場	1,330万円
後期高齢者医療	12億4,901万円
計	153億3,618万円

**表2** 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億4,566万円	10億7,487万円	3億3,778万円
	支出	13億4,566万円	10億7,487万円	3億3,778万円
資本的収支	収入	5億2,669万円	2億1,112万円	4億255万円
	支出	19億7,434万円	2億8,514万円	4億342万円

**表3** 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	212億3,250万円	
特別会計	公共下水道事業	141億8,652万円
	農業集落排水事業	12億9,271万円
	計	367億1,173万円

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	49億5,929万円
	工業用水道事業	155億9,680万円
	病院事業	1億9,231万円
	計	207億4,840万円

※平成23年3月補正後の金額です  
 ※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

## 特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成23年度は、表1のとおり7つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、153億3618万円となっています。

### ■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

給付を行うための会計です

### ■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

### ■立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

### ■公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

### ■農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

### ■市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

### ■後期高齢者医療特別会計

『後期高齢者医療制度』の適用を受ける75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域連合へ納付する会計です



## 企業会計

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

### ■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

### ■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、

使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

### ■病院事業特別会計

市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

## 市債現在高

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

# 施策を着実に進めていきます

## 豊かな『実り』へ前進

### 真に自立した地域社会をめざし

### 情熱をもって果敢に挑戦

平成23年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部市長が平成23年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介いたします。

#### 平成23年 第1回定例会 所信表明

##### はじめに

昨年4月、3期目の市政運営について負託をいただいで以来、市民の皆さんのまちづくりに対する熱い想いや市政への期待の大きさを肌で感じ

ながら、今日まで和の心をもって政策の推進に努めてきました。

また、大きな課題であった山代町浦ノ崎地区の埋立免許失効地や黒澤記念館の問題が解決に向け動き出すとともに

に、新統合病院の着工や伊万里港の重点港湾への選定、西九州自動車道の平成26年度伊万里市域への供用開始、さらには、国道498号大坪バイパスや井手口川ダムの事業進捗など、市政発展の礎を築くことができました。

これまで取り組んできた大型プロジェクトをはじめ、事業の一つ一つを日々の努力により一歩でも前に進め、豊かな『実り』へと結び付け、幾多の歴史の変遷を経て着実な成長を遂げてきたこの伊万里を、真に自立した地域社会へとさらに高めていくことが、私の使命であると、決意を新たにしています。

##### 時代潮流と社会情勢

さて、わが国の経済は、世界的な金融危機による景気の後退から、国の緊急経済対策により一部持ち直しの動きが

見られるものの、デフレや急速な円高の進行などにより回復は鈍化し依然厳しい状況にあることから、雇用不安や所得の減少を引き起こすなど、社会の閉塞感や将来への不透明感が強まっています。

国においては、環太平洋パートナーシップ協定をはじめ、雇用対策や社会保障制度改革、さらには、社会的孤立への対応や政治改革など、元気な日本の復活に向けた新成長戦略が示されています。

また、地域主権改革として義務付けと枠付けの見直しや一括交付金の創設が進められるなど、地方自治体の自主・自立的な行財政運営がこれまでも増して求められています。

##### 市政運営の基本方針

このように、市民生活に直接かかわる地方自治体の政策形成能力が問われる時代を迎えた今、私は、少子高齢化への対応や地域医療の確保、さらには財政の健全化など、本市が直面する政策課題に正面から立ち向かい、将来の進むべき方向を見据える先見性と何事にも果敢に挑戦する情熱をもって、市政の発展に全力を傾注していきます。



伊万里市長  
塚部 芳和



もうすぐ  
実を結びます!

# 市民の願いの実現に向け

新統合病院

平成 23 年 12 月 開院予定

井手口川ダム

平成 23 年度 ダム本体・周辺整備完了

伊万里港水深13メートル岸壁

平成 24 年度 完成予定

西九州自動車道

平成 26 年度 谷口 IC まで開通予定

平成 26 年度 山代 IC ~今福 IC まで開通予定

広域ごみ処理施設

平成 27 年度 供用開始予定

## 主要な施策

政策の推進にあたっては、本市の将来都市像である『活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里』の実現をめざし、重点的な事業の展開に努めてまいります。

### 安心と安全の確保

県西部保健医療圏における中核的役割を担う新統合病院については、本年12月の開院に向け有田町と一体となつて事業を推進するほか、休日・夜間急患医療センターを現在の隣接地に新築移転するとともに、子宮頸がんや細菌性髄膜炎を予防するためのワクチン接種費用を助成するなど、市民の皆さんの尊い命と健康を守るための施策に取り組めます。

また、県西部地区4市5町により松浦町において整備を進めている広域ごみ処理施設については、引き続き環境影響評価を実施するとともに、処理システムを決定し、敷地や取付道路の用地測量を行うなど事業推進に努めます。

### 将来に向けたつとめ

明日の伊万里を担う子ども

たちの教育環境の充実を図るため、学校の耐震診断に引き続き取り組みとともに、二里小学校の校舎改築に向けた基本設計を行うほか、子どもの感性を高め創造力を育むことを目的として、すべての小中学校において家読をはじめ読書活動への取り組みを推進します。

また、活気に満ちた地域をめざし各町において主体的に取り組みされているまちづくり活動を促進するとともに、市民活動団体などが自ら企画し実行する事業を支援するなど、市民との協働によるまちづくりを進めます。

さらに、昨年4月に設置した婚活応援課において、独身の皆さんの結婚を支援するため相談や出会いの場の提供などに取り組むとともに、近隣自治体と連携を図り、多くの幸せなカップルの誕生をめざします。

### 産業振興と都市基盤整備

山代町浦ノ崎地区において、航路浚渫土砂などの埋立地として佐賀県で整備が進め

られている廃棄物処理用地について、地域や民間企業などの連携により将来を見据えた開発の方向性を見いだすとともに、関係機関への提案活動などに取り組みます。

また、松島郷地区において、引き続き都市計画道路大坪木須線の整備に取り組むとともに、長年の課題であった浸水対策についてはポンプ場建設に着手します。

さらに、福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道については、平成26年度の供用開始が決定した唐津伊万里道路の谷口インターチェンジ（仮称）までの一日も早い開通をめざし市内工区のさらなる事業促進を図るとともに、伊万里港については、大型化するコンテナ船への対応として水深13メートル岸壁の整備が平成24年度完成に向け国の直轄事業で進んでいることから、ガントリークレーンの早期設置について、佐賀県に対し働きかけを強化するなど、成長著しい東アジアに向けた国際物流港としての基盤整備を進めます。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。





# 安いで健やかな暮らしづくり

高齢者が住み慣れた地域で健やかに安心して暮らすことができるよう、高齢者福祉計画および介護保険事業計画の改定に取り組み、介護予防を効果的に進めるとともに必要に応じた介護サービスの提供に努めます。

障害者の支援については、自立した生活を支援するための介護給付や職業訓練など障害福祉サービスの提供に努めるほか、障害者支援の指針となる障害者計画および障害福祉計画の改定に取り組みます。

安心して子どもを産み育てることができ環境づくりとして、小学校就学前の乳幼児に対する医療費の助成など子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、病後児保育をはじめ保育所における一時預かりや延長保育など、多様な保育ニーズに対応したサービスの提供に努めます。

また、新たに牧島児童クラブの施設を整備するなど、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。



伊万里市老人クラブ連合会が主催するシルバー体育祭



開院に向け着々と建設が進む新統合病院

## ●中核的病院整備推進事業

6億3791万円

西部保健医療圏（伊万里市、有田町）の中核となる新統合病院を整備するため、伊万里・有田地区医療福祉組合へ負担金を支出します

財源 市債4億4840万円 市1億8951万円 ▼公的病院統合推進室

## ●休日・夜間急患医療センター移転新築事業

7600万円

施設の老朽化と駐車場の確保が課題となっている休日・夜間急患医療センターについて、県西部地域医療再生計画基金を活用し、施設の新築移転を行い、設備の充実と利用者の利便性の確保を図ります

財源 県7600万円

▼健康づくり課

## ●地域福祉計画策定事業

63万円

複雑多様化する市民ニーズに対応した福祉施策を推進するため、第2次地域福祉計画を策定します

財源 市63万円

▼福祉課

## ●高齢者福祉計画策定事業

115万円

第5期介護保険事業計画との整合を図りながら、高齢者福祉施策の事業量の目標設定などを内容とする第2次高齢者福祉計画を策定します

財源 市115万円

▼長寿社会課

## ●老人クラブ活動事業

289万円

市老人クラブ連合会および各町単位老人クラブに対し、補助を行います

財源 県58万円 市231万円

▼長寿社会課

## ●シルバー人材センター支援事業

1148万円

高齢者の就業促進に取り組みシルバー人材センターに対し、支援を行います

財源 市1148万円

▼長寿社会課

## ●障害者計画・障害福祉計画策定事業

68万円

障害者の自立と社会参加を支援し、総合的な障害者施策を推進するため、第2次障害者計画および第3期障害福祉計画を策定します

財源 市68万円

▼福祉課

●障害者自立支援給付事業

7億2116万円

障害者自立支援法の施行に伴い、障害者やその保護者に対し障害福祉サービス利用の支援などを行い、障害者の自立や社会参加を促進します  
財源 国3億5979万円 県1億7989万円 市1億8148万円

▼福祉課

●障害者生活支援センター管理運営事業

1547万円

障害者の自立や社会参加などを促進するため、福祉サービスの利用の相談、援助や情報の提供などを行う障害者生活支援センターを運営します  
財源 国389万円 県195万円 諸収入312万円 市651万円

▼福祉課

●子ども手当支給事業

13億7991万円

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に子ども手当を支給します

財源 国11億152万円 県1億3779万円 市1億4060万円

▼福祉課

●医療費助成事業

2億3936万円

保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障害者、乳幼児、ひとり親家庭などに対し、医療費を助成

します

財源 県1億1179万円 諸収入72万円 市1億2685万円

▼福祉課

●病後児保育事業

450万円

保護者が就労などにより病後回復期の子どもの自宅での保育できない場合に、子どもを一時的に預かり安心して就労などができるよう、運営委託を行います

財源 県160万円 市290万円

▼福祉課

●一時預かり事業

200万円

保育園児でない在宅の乳幼児を、一時的に保育所において保育する私立保育園を支援します

財源 国100万円 市100万円

▼福祉課

●延長保育促進事業

408万円

保護者の就労時間などに対応するた



赤ちゃんの人形を使って、入浴の練習をする若い夫婦

め、開所時間（11時間）を30分延長する保育園に対し補助を行います  
財源 県272万円 市136万円

▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業

6284万円

就労などにより、昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し健全な育成を図ります

財源 使用料2146万円 県2527万円 諸収入44万円 市1567万円

▼教育総務課

●予防接種事業

1億3853万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児などへの各種予防接種や高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します

財源 県713万円 市1億1140万円

▼健康づくり課

●4か月児訪問事業

28万円

生後4か月までの乳児がいる家庭を対象に訪問活動を行い、育児に関する不安や悩みへの対応、子育てに関する情報の提供、児童虐待の早期発見などの育児支援に努めます

財源 国14万円 市14万円

▼健康づくり課

●妊婦乳児健康診査事業

5128万円



1歳6か月健診で行う歯の検査

乳幼児が心身ともに健やかに育つよう健康診査を行うとともに、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産できる体制を確保するため、公費負担により実施します

財源 県1727万円 市3401万円

▼健康づくり課

●健康増進事業

3470万円

市民の健康保持を目的に、各種健（検）診、健康相談などを実施します

財源 国398万円 県1311万円 諸収入589万円 市2352万円

▼健康づくり課

●婚活応援推進事業

665万円

少子化対策の一環として、結婚活動への相談などにあたる結婚支援相談員を配置するとともに、県の安心子ども基金特別対策事業を活用し、出会いの場や交流イベントなどを提供する協議会へ事業委託を行います

財源 県527万円 市138万円

▼婚活応援課



# 創造的で心豊かなひとづくり



市民図書館で楽しそうに絵本を選ぶ親子

郷土の歴史や伝統を学ぶ伊万里学を進め、地域を担う人材の育成に努めるほか、市民図書館の図書資料の充実とともに家読の浸透を図るなど、子どもから高齢者まであらゆる年齢層に応じた生涯学習の推進に努めます。

学校教育については、学習指導要領の改訂に伴い新たな教育課程の円滑な実施に努めるとともに、心身に不安を抱える児童や保護者などを支援するスクールカウンセラーをはじめ障害のある児童生徒をサポートする職員を配置するなど、学習環境の充実に努めます。

市民が気軽にスポーツを楽しむため、国見台庭球場の拡張に取り組むとともに、ウォーキング大会などを開催するほか、体育指導委員など地域における指導者の育成やニュースポーツ教室などの開催によりスポーツ活動の定着を図ります。

一流の音楽に触れる機会を創出するため、世界的に有名なマンハッタン・ジャズ・クインテットのコンサートを開催するほか、文化連盟など関係団体との連携により伊万里市文化祭や市民音楽祭など文化活動の充実に努めます。

●小学校建設事業 3729万円

平成21年度に行った耐震診断の結果、二里小学校（教室棟）については改築の必要があることから、年次計画に基づき校舎の基本設計と地質調査を行います

財源 市3729万円 ▼教育総務課

●小・中学校耐震化事業 1100万円

平成18年度に実施した耐震化優先度調査に基づき耐震診断を行います

財源 国307万円 市793万円 ▼教育総務課

●スクールカウンセラー事業 298万円

教育相談の専門的な知識や経験を持つスクールカウンセラーを小学校に配置し、不登校、いじめなど子どもや保護者が抱える悩みについて、適切なカウンセリングを実施します

財源 県99万円 市199万円 ▼学校教育課

●特別支援児童生徒サポート事業 683万円

小中学校において学習障害（LD）や注意欠陥多動性障害（ADHD）、肢体不自由などの特別な支援を必要とする児童生徒に対し臨時雇職員を配置し、学習・生活支援を行い自立を支援します

財源 市683万円 ▼学校教育課

●学力向上対策推進事業 70万円

小学校の児童生徒を対象とする市独自の漢字検定、中学1年生を対象とした新入生共通テストなどを実施し、実態の把握・分析、指導方法の改善を行い、きめ細やかな指導の充実に努めます

財源 市70万円 ▼学校教育課

●特色ある学校創造事業 248万円

児童生徒の学力向上や豊かな心の育成を図るため、各学校が学校や地域の実態に応じて事業を企画立案し、特色や魅力のある学校づくりを推進します

財源 市248万円 ▼学校教育課



総合学習の時間に焼き物の絵付けに挑戦する児童たち



●外国青年招致事業 624万円

市内の小中学校へ外国語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育や授業の補助を行い、子どもたちの外国語によるコミュニケーション能力や国際感覚を養います

財源 諸収入4万円 市620万円

▼学校教育課

●青少年相談・補導活動事業 177万円

いじめ・不登校・非行などの問題行動が増加する中で、子どもや家庭がかかえる悩みなどを相談できる体制や環境を確立し、問題の早期解決に努めます

財源 財産収入2万円 市175万円

▼生涯学習課

●放課後子ども教室推進事業 107万円

安全で安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の人たちの参画を得て、子どもたちと共にさまざまな学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進します

財源 県71万円 市36万円

▼生涯学習課

●伊万里塾推進事業 70万円

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を活かした地域づくりを推進するため、地域の特性や課題などを

踏まえた生涯学習を各種団体と連携し、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します

財源 市70万円

▼生涯学習課

●家読推進事業 17万円

読書を通じた家族のコミュニケーションを促進するため、家読推進講演会や出前講座などを開催し、家庭や地域、学校が一体となった家読の推進、拡大を図ります

財源 市17万円

▼市民図書館

●ブックスタート事業 35万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対し、3か月健診時に絵本を配付するとともに、ボランティアと協働で読み聞かせを行います



ブックスタートの絵本の読み聞かせて赤ちゃんも大満足

財源 繰入金35万円

▼市民図書館

●国見台体育施設改修事業 5070万円

国見台庭球場について、平成23年度から2か年の継続費を設定し、改修工事を行います

財源 国2500万円 市債2470万円 市100万円

▼体育保健課

●ウォーキング大会開催事業 30万円

誰もが気軽に参加できる『歩きたくなる街伊万里ウォーク』を開催し、市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウォーキングファンへ呼びかけ、伊万里を広くPRします

財源 市30万円

▼体育保健課

●スポーツ振興支援事業 369万円



体育指導委員の皆さんが中心になって行うラジオ体操会

スポーツの振興を図るため、市体育協会などに対する各種補助を行います

財源 市369万円

▼体育保健課

●市民センター自主事業 249万円

著名なミュージシャンによるジャズ演奏を鑑賞する機会を提供し、市民の文化意識の向上に努めます

財源 諸収入237万円 市12万円

▼市民センター

●カプトガニ保護事業（カプトガニ展示館運営費補助金） 200万円

地域資源を活かしたまちづくりを推進するため、地元保護団体が取り組む『カプトガニ展示館』の運営に対し補助を行います

財源 市200万円

▼生涯学習課



カプトガニの生態などについて説明を聞く子どもたち

# 活気あふれる産業づくり



出荷に向け丁寧に梨を選果する関係者の皆さん

農業者戸別所得補償制度の本格実施に伴い、麦や大豆などの戦略作物の作付を促し農業経営の安定を図るとともに、農産物を低減する農業者の支援に努め、環境に配慮した安全な農作物の生産を促進します。また、地域ぐるみで取り組む農地や農道などの維持管理に対する支援のほか、国や県の採択基準に満たない小規模な農業用施設などの改良を支援します。

伊万里旨いもの収穫祭やバーベキュー列車など伊万里牛を活用したイベントなどを開催し、都市住民との交流や伊万里牛の販路拡大に取り組むとともに、収益が生産費を下回った場合に補てんするための生産者積立金や死亡獣畜の搬送処理に要する経費を支援するなど、経営の安定に努めます。

県の基金事業の活用により教育や福祉、観光分野などにおいて雇用創出を図るとともに、本年1月に設置した就活支援室において、ハローワークや商工会議所、高校など関係機関との連携により学生などの就職活動の支援に努めます。

また、ハウステンボスや周辺自治体と一体となって観光ツアーの開発や情報発信などを行うほか、いまり秋祭りなどのイベントの開催により観光客の誘致を図ります。

## ●戸別所得補償制度推進事業

207万円

戸別所得補償制度を円滑に推進するため、生産組合の推進経費を支援します

財源 市207万円 ▼農業振興課

## ●米・麦・大豆競争力強化対策事業

717万円

競争力があり売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、水田農業の担い手自らが将来の経営発展に向けて策定した効率的生産確立計画の実現に必要な取り組みを支援します

財源 県552万円 市165万円 ▼農業振興課

## ●環境保全型農業直接支援対策事業(新)

72万円

昨年度まで営農活動支援に係る交付金を受けていた農業者グループが行う、化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取り組みに対して、面積に応じた支援を行います

財源 県3万円 市69万円 ▼農業振興課

## ●農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援)事業

1597万円

農村地域の適切な地域活動の継続により、農地、農業用水などの資源や農村環境が将来にわたり良好な状態で保管理され、その質的な向上が図られるよう、地域ぐるみの共同活

動の支援を行います

財源 県49万円 市1548万円 ▼農山漁村整備課

## ●中山間地域等直接支払交付金事業

1億8548万円

中山間地域における農業生産条件の是正、耕作放棄地の発生防止、水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持増進を図るため、交付金を交付します

財源 県1億3954万円 市4594万円 ▼農業振興課

## ●小規模土地改良事業

500万円

国、県の採択基準に満たない農道舗装、水路改良などの小規模な土地改良事業に対し支援を行います

財源 市500万円 ▼農山漁村整備課

## ●強い園芸農業確立対策事業

2637万円

園芸農業の振興のために、2戸以上の農業者で構成する営農集団などが行う機械・施設などの整備に対し支援を行います

財源 県2028万円 市609万円 ▼農業振興課

## ●伊万里牛PR事業

96万円

伊万里牛を全国に広くPRすることを目的に各種イベントなどを行います

財源 市96万円 ▼伊万里牛課



●伊万里牛肥育経営安定対策事業

324万円

配合飼料の価格高騰や畜産物価格の低迷などにより、厳しい状況にある畜産農家の経営を支援するため、国が実施している肉用牛肥育経営安定特別対策事業の生産者積立金の一部を補助し、畜産経営の安定と伊万里牛の生産振興を図ります

財源 市324万円 ▼伊万里牛課



愛情たっぷりに育てられている伊万里牛

●林道整備事業

347万円

県代行事業として整備を進めている林道の境界杭設置などを行うとともに、林道整備に必要な用地を購入します

財源 市債120万円 市227万円 ▼農山漁村整備課

●森林整備加速化・林業再生事業

4022万円

森林の間伐や作業道整備に対し補助を行うとともに、間伐材などの地域木材を活用し整備する木造施設の建設に対し支援を行い、森林整備の促進や林業経営の安定、再生を図ります

財源 県4018万円 市4万円 ▼農山漁村整備課

●沿岸漁業振興特別対策事業(新)99万円

波多津漁業協同組合が実施するアカガイ養殖施設整備に対して補助金を交付します

財源 県49万円 市50万円 ▼農山漁村整備課

●ふるさと雇用再生特別基金事業

816万円

雇用情勢の悪化を受け、県の雇用再生特別基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります

財源 県816万円 ▼企業誘致・商工振興課

●緊急雇用創出基金事業

1億3335万円

雇用情勢の悪化を受け、県の緊急雇用創出基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります

財源 県1億3335万円 ▼企業誘致・商工振興課

●企業等経営安定化支援事業(中小企業振興資金預託金)

業振興資金預託金)

2億3000万円

中小企業の資金調達を円滑にするための原資を金融機関へ預託します

財源 諸収入2億3000万円 ▼企業誘致・商工振興課

●企業訪問等立地勧奨事業

103万円

優良企業の誘致を実現するため、豊富で良質な労働力や東アジア地域に至近な地理的優位性を積極的にPRするなど、企業訪問を中心として立地勧奨を展開します

財源 使用料103万円 ▼企業誘致・商工振興課

●観光総務事業(ハウステンボス周遊観光協議会負担金(新))

20万円

ハウステンボスと周辺自治体が連携して周遊観光を活性化するため、協議会を設置し集客力の向上を図ります

財源 市20万円 ▼観光課

●いまり秋祭り事業

156万円

『いまり秋祭り』を運営する振興会に対し支援を行います

財源 市156万円 ▼観光課

●どっちゃん祭り事業

145万円

伊万里の夏祭りとして定着している『どっちゃん祭り』の実施に対し支援を行います

財源 市145万円 ▼観光課

●伊万里市観光協会事業

333万円

伊万里市の観光情報の発信や案内などを行う、伊万里市観光協会に対し支援を行います

財源 市333万円 ▼観光課

●伊万里・アジアネットワーク事業

125万円

平成21年度から開始した香港に輸出実績のある商社とタイアップした民間主導による『伊万里梨・ぶどう』の輸出が実を結んできており、平成23年度は、当該事業の仕上げの年ととらえ、民間主導による商流の構築と定着化を図ります

財源 市125万円 ▼開発推進課



伊万里の夏の風物詩・どっちゃん祭りに華を添える女みこし

# 安全で快適な地域づくり



地域の美化活動に取り組む子どもたち

市街地における交通の円滑化を図るため、都市計画道路陸内白野線の整備に引き続き取り組むほか、市道の危険個所の早期発見や補修に努めます。

ごみの減量化と廃棄物の適正な処理をめざし、老朽化した環境センターの適切な維持管理に努めるほか、新たに使用済み蛍光管を分別回収するとともに、地域における資源ごみの回収を支援するなど、市民の自主的なりサイクル活動の推進に努めます。

火災から市民の生命や財産を守るため、はしご車を分解整備するとともに、新たに自然災害時にも対応が可能な指令車を導入するなど、消防体制の強化を図ります。

また、防災の推進については、農地や家屋などへの浸水被害を防止するため煤屋川の改修に取り組むとともに、急傾斜地やがけ地の崩壊の未然防止を図ります。

交通安全対策を推進するため、点字ブロックの設置など歩道のバリアフリー化をはじめ、ガードレールなどの交通安全施設の整備に努めるとともに、交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を行うほか、今後5年間の交通安全施策の指針となる交通安全計画の改定に取り組めます。

● **住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里推進事業** 272万円

伊万里市への定住を促進するため、市内に土地と家屋を取得した転入者に対し奨励金を交付します

財源 市272万円 ▼企画政策課

● **浦ノ崎地区開発構想策定事業** 95万円

山代町浦ノ崎地区において、県が整備している廃棄物処理用地の将来的な活用策について検討し、港湾整備に関する開発構想を策定します

財源 市95万円 ▼企画政策課

● **港湾一般管理事業** 432万円

伊万里港振興のため、大型船が接岸できるマイナス13m岸壁の整備促進や伊万里港湾区域内の樋門の管理などを行います

財源 県245万円 市187万円

▼国道港湾対策課

● **都市計画道路整備事業(大坪木須線)** 1521万円

社会資本整備総合交付金を活用し、県道黒川松島線バイパスに接続するための整備を行います

財源 国825万円 市債670万円 市26万円

▼都市開発課

● **都市計画道路整備事業(陸内白野線)** 9633万円



3月に一部開通した都市計画道路・大坪木須線

社会資本整備総合交付金を活用し、国道202号に接続する2工区についての整備を行います

財源 国5225万円 市債4270万円 市138万円 ▼都市開発課

● **道路維持事業** 5078万円

市内全域の市道の維持管理を行います

財源 諸収入9万円 市5069万円 ▼建設課

● **市道整備事業** 2275万円

市民生活に身近な市道について、歩道の拡幅や段差解消など安全の確保に努めます

財源 市債1230万円 市1045万円 ▼建設課





市民の皆さんの移動手段として大切な路線バス

●道路整備総合交付金事業(新)

2535万円

社会資本整備総合交付金を活用し、市道重橋・中山線、市道天神・浦川内線の改良を行います

財源 国1375万円 市債1120万円 市40万円 ▼建設課

●浸水対策事業

3055万円

松島搦地区は、伊万里湾の満潮時と豪雨が重なるときは道路などが浸水しているため、雨水渠や排水ポンプなどの整備を行います

財源 国1500万円 市債1520万円 市35万円 ▼下水道課

●路線バス運行事業

2140万円

いまりんバスの運行や周辺部における巡回バスの実証実験に引き続き取り組みとともに、東山代元気バスの

運営を支援するなど、市民の移動手段を確保します

財源 市2140万円

▼企業誘致・商工振興課

●公共交通支援事業(松浦鉄道施設整備事業費補助金)

1935万円

第三セクターである松浦鉄道の設備更新などの経営強化に対し支援を行います

財源 市1935万円

▼企業誘致・商工振興課

●簡易水道統合整備事業(水道事業特別会計)

9億5661万円

第9次拡張事業における簡易水道統合整備事業として、浄水施設の整備や配水池の築造を行うとともに、松浦川取水場の整備を行います

財源 負担金1074万円 国1億9620万円 出資債4803万円 留保資金7億164万円 ▼工務課

●浦ノ崎簡易水道区域拡張事業(水道事業特別会計)

1億2310万円

山代町野々頭地区へ給水区域を拡張するため、配水池を築造するとともに、送水ポンプ場の整備を行います

財源 国3720万円 留保資金8590万円 ▼工務課

●井手口川ダム建設促進事業(周辺整備工事)

2586万円

平成9年度から県事業として進めて

いる井手口川ダム建設事業は、平成23年度で完了する予定であり、ダム周辺地域の振興策としてダム周辺整備工事を行います

財源 諸収入1114万円 市1472万円 ▼開発推進課

●伊万里駅前修景事業(新)

100万円

伊万里ロータリークラブより寄附を受け積み立てたまちづくり基金を活用し、伊万里駅前に「焼き物の里伊万里」をイメージしたモニユメントを設置するため、その台座を作成します

財源 繰入金100万円 ▼建設課

●住宅・建築物耐震改修等事業

228万円

平成19年度に実施した公共施設の耐震化優先度調査に基づき耐震診断を行うとともに、一般住宅についても、耐震診断に必要な経費の一部を助成します

財源 国40万円 県1万円 市187万円 ▼建設課

●市営住宅管理運営事業

557万円

市営住宅の入居者が、安心して安全に暮らすことができるよう施設の管理運営を行います

財源 使用料297万円 諸収入260万円 ▼建設課

●都市公園管理事業

3772万円



多くの家族連れが訪れる夢みさき公園

都市公園の清掃、樹木などの剪定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います

財源 使用料16万円 諸収入7万円 市3749万円 ▼都市開発課

●公共下水道事業(公共下水道事業特別会計)

20億5802万円

快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を推進します

財源 国7224万円 市7億円 市債7億9280万円 使用料など4億9298万円 ▼下水道課

●浄化槽設置整備事業(浄化槽設置整備事業補助金)

2970万円

浄化槽を設置する世帯に対し補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図ります

財源 国990万円 県990万円 市990万円 ▼下水道課



バザーなどでにぎわうリサイクルフェア会場

●ごみ処理広域化推進事業

3578万円

佐賀県西部広域環境組合に対し経費を負担し、新施設の建設推進を図ります。今年度は、環境影響評価の現地調査に基づく、準備書の作成などを行います

財源 市3578万円 ▼環境課

●環境センター管理運営事業

2億6486万円

一般廃棄物を衛生的かつ適正に処理するため、老朽化した焼却施設を完全に稼働できるように管理運営を行うとともに、ごみのリサイクル処理を行います

財源 諸収入1723万円 市2億

4763万円

▼環境課

●資源ごみ回収奨励事業

306万円

リサイクル推進やごみ減量化対策の一環として、資源ごみの回収団体に對し補助を行います

財源 市306万円 ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合事業

2億8347万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理や火葬場事業などに対し、その運営経費を負担します

財源 市2億8347万円 ▼環境課

●消防車両更新整備事業

2625万円

高層建築物における消火活動や人命救助を行うはしご車について、安全基準に基づき分解整備（オーバールール）を行います

財源 市2625万円 ▼消防本部

●消防資器材整備事業

550万円

消防力の充実強化を図るため、指令車や消防ホース、防火衣などの整備を行います

財源 諸収入140万円 市410万円 ▼消防本部

●非常備消防車両等整備事業

390万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車について、老朽化のため更新を行います

早めに住宅用火災警報器を設置しましょう！



財源 諸収入380万円 市10万円

▼消防本部

●消防施設整備支援事業

120万円

防火水槽の新設に対し補助を行います

財源 市120万円 ▼消防本部

●消防団施設整備支援事業

19万円

ホース乾燥施設の新設に対し補助を行います

財源 市19万円 ▼消防本部

●救急救命士養成事業

298万円

救急業務体制の充実強化を図るため、高度な救急救命士を養成することができる救急救命士を養成します

財源 市298万円 ▼消防本部

●総合流域防災事業

5193万円

農家や家屋などへの浸水被害を防止するため、煤屋川の改修を行います

財源 国1700万円 市債2790万円 市703万円 ▼土木管理課

●急傾斜地崩壊防止事業

430万円

家屋などの背後地の急傾斜地や崖地の崩壊による被害を未然に防止するための工事を行います

財源 分担金107万円 県215万円 市108万円 ▼土木管理課

●交通安全施設整備事業

304万円

社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者の安全確保のため、既存歩道の段差解消や拡張を行います

財源 国165万円 市債130万円 市9万円 ▼建設課

●防犯灯設置費助成事業

120万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対し、事業費の一部を補助します

財源 市120万円 ▼総務課



伝統産業会館で行われた、はしご車による消防訓練



# 自立と協働のまちづくり



男女協働参画行事『パパとパンづくり』の様子

行政運営への市民の関心を高めるため、広報紙などを用いた的確で迅速な行政情報の提供に努めるとともに、個人情報等を適切に取り扱うほか、情報公開制度の周知を図ります。また、重要な施策などの決定においてはパブリックコメントを実施するなど、市民の声の市政への反映に努めます。

まちづくりの担い手の育成については、市民ネットワーク「いまり」の活動を支援し、市民活動団体の相互連携と活動の活性化を図るとともに、拠点となる市民活動支援センターの利用を促進するほか、地域づくりの担い手を育成する研修事業へ市民を派遣するなど、人材の育成に努めます。

効率的な行財政の運営をめざし、行政評価を活用した新たな行政経営システムの確立に努めるほか、自立した行政経営を確立するため、地域主権改革をはじめとするさまざまな行政需要に的確に対応できる企画立案能力を備えた職員の育成に努めるほか、行財政改革への積極的かつ継続的な取り組みを進め、真に必要な施策の推進に財源や人材など限られた資源を集中的に投資する行政経営に努めます。

●地域の元気推進事業 1055万円

自主、自立のまちづくりを推進するため、市内13地区公民館を単位に策定したまちづくり計画に基づく実践活動に対し支援を行います

財源 繰入金1050万円 市5万円

▼男女協働・まちづくり課

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 87万円

市民自らが楽しい夢のあるまちづくりを計画提案し、個性豊かな活力あるまちづくりを推進するため、市民活動団体などに対し支援を行います

財源 財産収入30万円 市57万円

▼男女協働・まちづくり課

●女性自立支援相談事業新 133万円

DV（配偶者などからの暴力）相談者の増加に加え、一時保護など相談内容も深刻化していることから、地域活性化交付金を活用し、DVをはじめとする女性に関する悩み相談を受ける窓口を開設し、相談員1名を配置します

財源 繰入金103万円 市30万円

▼男女協働・まちづくり課

●賦課徴収事業（固定資産評価適正化事業等委託） 4822万円

3年に一度の評価替えに伴う固定資産評価適正化事業を実施するとともに、平成22年度から実施している家屋の全棟調査（家屋評価）事業を継

続して行います

財源 市4822万円

▼税務課

●地籍調査事業 1億6881万円

公共財産の保全とともに、土地に関する基礎資料とするため、黒川町や波多津町の一部の地籍調査を行います

財源 手数料22万円 県1億710万円 諸収入54万円 市6095万円

▼地籍調査課

●星幹業務運営事業（外国人住民に係る住民基本台帳システム改修新） 1262万円

『住民基本台帳法の一部を改正する法律』が平成21年7月に公布され、平成24年7月までに外国人住民を適用対象に加えることになったため、システム改修を行います

財源 市1262万円

▼市民課



地域が一体となって取り組んでいる大川町の『やってみゆ〜だ』



## 平成23年度 予算特集号

- 発行日／平成23年4月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313(ダイヤルイン)  
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社三光